

製品名: FBLN5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80640**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	FBLN5
別名	EVEC; UP50; ARMD3; DANCE
遺伝子 ID	10516.0
SwissProt ID	Q9UBX5
免疫原	大腸菌で発現した FBLN5 (aa242-448) の精製された組み換え断片。

背景

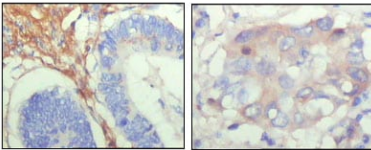
FBLN5: フィブリン 5。このタンパク質は、Arg-Gly-Asp (RGD) モチーフとカルシウム結合性 EGF 様ドメインを含む分泌型細胞外マトリックスタンパク質です。インテグリンと RGD モチーフとの相互作用を介して、内皮細胞の接着を促進します。発達期の動脈で

は顕著に発現しますが、成体血管ではそれほど発現しません。しかし、バルーン損傷血管やアテローム性動脈硬化病変、特に内膜血管平滑筋細胞と内皮細胞では、その発現が再誘導されます。したがって、この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血管の発達とリモデリングにおいて役割を果たしている可能性があります。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸がん（左）および乳がん（右）の免疫組織化学分析。FBLN5 マウス mAb を使用した DAB 染色による細胞質局在を示しています。